

温故知新

常磐関船町作田（常磐市民会館、常磐公民館、常磐図書館、関船体育館、関船弓道場などがある場所）に「福島県立湯本高等学校 旧校舎跡地」と刻まれた石碑があります。



およそ60年前（昭和40年前後）、湯本高校は、現在の常磐上湯長谷町五反田の新校舎へ移転しました（いわき湯本高校本校舎のある場所）。

昭和43年、移転新築の建設事業を終え、全校舎落成及び創立25周年の式典が挙行され、「・・・輝かしい伝統と校風を一そう光輝あらしめることはわれわれ職員、生徒一同の責務である・・・」（「湯本高校五十年史」より）と、当時の校長が語る言葉は、それまでの湯本高校の良き伝統・実績を継承しながら、移転新築を踏まえ、新しい湯本高校を築くこと、言い換えれば、「新しい学校づくり」に燃える生徒、先生の気持ちを表しています。

今、私たちが取り組んでいるのも、「新しい学校づくり」です。つまり、湯本高校と遠野高校の良き伝統・実績と熱い思いを継承し、新しい「いわき湯本高校」を築くことです。

「温故知新」

今、私たちが取り組んでいる「新しい学校づくり」は、新しくて古い、古くて新しい・・・



↑ 玄関わきの校歌碑の裏面に湯本高校の沿革が刻まれています。

「新しい学校づくり」を通して、「新しい自分の可能性」を発見し、それを磨きながら、「新しい自分」をつくっていきましょう。

輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。